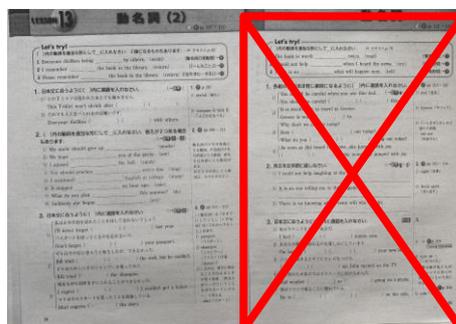


1月19日(火)～22日(金) 課題内容について

下記の内容①②に取り組むこと。

- ① 1月15日(金)の授業で配布したプリント Lesson12・Lesson13 を解く
(FUTHER STUDY は除く)



※手元にプリントがない場合は、以下 P.2-P.4 を見てノートやルーズリーフ等に解く。

内容は、2年生で習った『動名詞』の復習です。教科書 Lesson6(P.58～P.63)、あるいは DUAL SCOPE の参考書 P.200～P.217 を見て、復習しながら進めましょう。

- ② 解答後、P.5-P.6 を確認して答え合わせをする。
- P.2-P.3・・・解答解説は P.5
 - P.4・・・解答解説は P.6

～ 連絡 ～

登校再開後の授業で、課題の確認を行うとともに、上記範囲の内容が復習・理解できている前提で授業を進めます。わからないところは授業で質問してください。

卒業考査まであと約二週間です。「助動詞」「不定詞」「動名詞」はすべて卒業考査範囲になりますので、はやめに勉強を始めてください。

Let's try!

- ()内の語句を入れるのに適切な箇所を^で示しなさい。 ☞ テキスト p. 40
- 1 Getting up early good for your health. (is) [名詞的性質：主語]→①
 - 2 His hobby is pictures. (drawing) [名詞的性質：補語]→②
 - 3 I'm good at pizza. (making) [名詞的性質：前置詞の目的語]→④
 - 4 Jane is proud of being a professional tennis player. (her son) [動名詞の意味上の主語]→⑥
 - 5 Meg is proud of having a nurse when she was young. (been) [完了動名詞]→⑦

1. 日本語に合うように()内の語を並べかえなさい。 (→§1)

- 1) 他の国について学ぶことは大切です。
(countries, important, learning, other, is, about)
_____.
- 2) 私の夢は外国に住むことです。(is, in, dream, my, living)
_____ a foreign country.
- 3) あなたと話せて楽しかったです。(talking, you, I, with, enjoyed)
_____.
- 4) 私は地図を読むのが得意だ。(good, maps, am, reading, at)
I _____.
- 5) ハルトはヨーロッパでサッカーをすることに関心がある。
(in, soccer, interested, is, playing)
Haruto _____ in Europe.

1. 参 pp. 202 ~ 203

- 1) 動名詞が主語。
- 2) 動名詞が補語。
- 3) 動名詞が目的語。
- 4)・5) 動名詞が前置詞の目的語。
- 4) read maps
「地図を読む」
- 5) Europe
「ヨーロッパ」

2. 参 pp. 204 ~ 205

- 1)・3) 動名詞の意味上の主語は文の主語と同じ。

2. 日本語に合うように()内に適語を入れなさい。 (→§2)

- 1) サリーは毎朝、満員電車に乗るのにうんざりしている。
Sally is tired of () the crowded train every morning.
- 2) 彼の両親は、彼が騒がしい音楽を演奏するのを好ましく思っていない。
His parents don't like () () loud music.
- 3) ジムはそのチームのメンバーであることを誇りに思っている。
Jim is proud of () a member of the team.
- 4) あなたがたのテーブルに加わってもよろしいでしょうか。
Would you () () () your table?
- 5) 私はトムがその犬の世話をすべきだと主張した。
I insisted on () () after the dog.
- 6) ダンは彼女が自分を覚えていないのではないかと心配していた。
Dan was afraid of () () () him.

- 1) be tired of doing
「～するのにうんざりしている」
ride a crowded train
「満員電車に乗る」
- 2) loud music
「騒がしい音楽」
- 4) 「加わる」(=join)
の意味上の主語は「私」。

参 p. 205 着眼点

- 5) insist on
「～を主張する」
- 6) 動名詞の否定形は、動名詞の直前に not を置く。

3. 各組の文がほぼ同じ意味になるように()内に適語を入れなさい。

- 1) { Kenta is sure that he will pass the exam. (→ 3)
 Kenta is sure of () the exam.
- 2) { I'm sorry that I didn't believe you.
 I'm sorry for () () () you.
- 3) { I was ashamed of not knowing the answer.
 I was ashamed that I () () the answer.
- 4) { Bob was proud of having won the game.
 Bob was proud that he () () the game.
- 5) { Are you aware that you broke the rule?
 Are you aware of () () the rule?

4. ()内の語を入れるのに最も適する位置を記号で選び、各文を日本語に直しなさい。 **総合**

- 1) Playing ^ア cards _イ with them ^ウ a lot of _エ fun. (was)

- 2) I ^ア start _イ the morning ^ウ by _エ a cup of coffee. (having)

- 3) Bill is ^ア sure _イ of ^ウ accepting _エ his proposal. (her)

- 4) I apologized to Ken ^ア for _イ having ^ウ answered _エ his email. (not)

- 5) Turn ^ア off _イ your computer ^ウ using _エ it. (after)

5. 日本語に合うように()内に適語を入れなさい。 **総合**

- 1) 私は彼らが無事に帰ってくることを確信している。
 I'm sure of () () () safely.
- 2) 私たちの写真を1枚撮っていただけませんか。
 Would you mind () () () of us?
- 3) 食べる前に手を洗いましたか。
 Did you () () () () ()?
- 4) ジェーンは彼が速く運転しすぎることに文句を言った。
 Jane complained of () () () () ().
- 5) 子どもたちは親が物語を読んでもくれるのが大好きだ。
 Children love () () () stories to them.
- 6) ユキはノックもせずに、私の部屋に入って来る。

3. 参 pp. 205 ~ 207

1) <doing> が未来を表す場合。

参 p. 206 参考

2) ・4) ・5) that 節中の動詞が述語動詞より以前の時を表す場合、完了動名詞を使う。

3) 動名詞は述語動詞と同じ時を表す。

5) break a rule
 「規則を破る」

4.

1) play cards
 「トランプをする」

2) by ~
 「(手段)によって」

3) proposal
 「結婚の申し込み、プロポーズ」

4) 完了動名詞の否定形。
 参 p. 207 参考
 apologize to A for B
 「B のことで A に謝る」

5) turn off ~
 「~を消す, 切る」
 動名詞が前置詞の目的語になる。

参 pp. 202 ~ 203

5.

1) be sure of ~
 「~を確信している」
 safely 「無事に」

2) 「あなたは写真を撮るのはいやですか」が直訳。「撮る」の主語は「あなた」。

3) 動名詞が前置詞 before の目的語になる。

6) 「ノックすることをしないで」が直訳。

Let's try!

()内の動詞を適当な形にして__に入れなさい。2語になるものもあります。☞ テキスト p. 42

1 Everyone dislikes being _____ by others. (scold) [動名詞の受動態]→8

2 I remember _____ the book to the library. (return) [[~したこと]]→9

3 Please remember _____ the book to the library. (return) [[忘れずに~する]]→10

1. 日本文に合うように()内に適語を入れなさい。 (→§4)

1) このTシャツは洗われたあとでも縮みません。

This T-shirt won't shrink after () () .

2) だれでも人と比べられるのは嫌いです。

Everyone dislikes () () with others.

2. ()内の動詞を適当な形にして__に入れなさい。答えが2つある場合もあります。 (→§5 1~3)

1) My uncle should give up _____ . (smoke)

2) We hope _____ you at the party. (see)

3) I missed _____ the ball. (catch)

4) You should practice _____ every day. (sing)

5) I continued _____ English at college. (study)

6) It stopped _____ an hour ago. (rain)

7) What do you plan _____ this summer? (do)

8) Suddenly she began _____ . (cry)

3. 日本文に合うように()内に適語を入れなさい。 (→§5 4)

1) 私は去年中国を訪れたことを決して忘れないでしょう。
I'll never forget () () last year.

パスポートを持ってくるのを忘れないで。
Don't forget () () your passport.

2) ビルはその岩に登ろうと努力したが、できなかった。
Bill tried () () the rock, but he couldn't.

ビルはためしにそのシャンプーを使ってみた。
Bill tried () the shampoo.

3) 残念ながら切符を手に入れることができなかった。
I regret () () I couldn't get a ticket.

マリはそのスカートを買ったことを後悔している。
Mari regrets () the skirt.

1. 参 p. 207

1) shrink 「縮む」

2) compare A with B
「AとBを比べる」

2. 参 pp. 208 ~ 211

動名詞だけを目的語にとる動詞、不定詞だけを目的語にとる動詞、両方を目的語にとる動詞がある。

両方を目的語にとる動詞は、左の8文中2つ。

3. 参 pp. 211 ~ 212

<+動名詞>は「今までにしたこと」、<+不定詞>は「これからすること」を表す。

1) passport
「パスポート」

2) shampoo
「シャンプー」
(アクセント注意
[ˈʃæmpʊː])

3) 1文めは、相手に残念なことを伝えるときに使う表現。「残念ながら~だということと言わないといけない」と考える。
skirt 「スカート」

Let's try!

- 1 Getting up early ^ good for your health. (is)
- 2 His hobby is ^ pictures. (drawing)
- 3 I'm good at ^ pizza. (making)
- 4 Jane is proud of ^ being a professional tennis player. (her son)
- 5 Meg is proud of having ^ a nurse when she was young. (been)

解説 1 Getting up early が主語。 2 drawing pictures が補語。 3 be good at *doing* 「～が得意だ」。at は前置詞なので、後に続く動詞は動名詞になる。 4 動名詞の前に目的格(または所有格)の(代)名詞を置いて、動名詞の意味上の主語を表す。 5 「看護師であった」時は「誇りに思う」という現在の時よりも前のことなので、完了動名詞(having + 過去分詞)を使う。

訳 1 早起きすることは健康によい。 2 彼の趣味は絵を描くことです。 3 僕はピザを作るのが得意です。 4 ジェーンは息子がプロのテニス選

20 解答編

詞 of に続く動詞は動名詞になる。 4) 「加わる」の意味上の主語は「私」なので、所有格または目的格にして動名詞の前に置く。 Would you mind my [me] *doing*? は「私が～するのはいいですか」→「～してもよろしいですか」の意味。「[いやではありませんよ→] いいですよ」と答える場合は、Not at all. や Of course [Certainly] not. を使う。 Yes と答えると、「[いやです→] ～しないでほしい」という意味になる。 5) 前置詞 on に続くので、look を動名詞にする。動名詞の意味上の主語 Tom's [Tom] を動名詞の前に置く。 6) 動名詞の否定形なので not を動名詞の直前に置き、さらに意味上の主語 her を not の前に置く。

3. 1) passing 2) not having believed
- 3) didn't know 4) had won
- 5) having broken

解説 1) 動名詞は述語動詞が表す時よりも先の未来を表すこともある。 2) that 節の動詞(didn't believe)は過去で、述語動詞の時(現在)よりも前の時を表すので完了動名詞にする。 not は having の前に置く。 3) knowing は単純動名詞なので、述語動詞(was)と同じ時(過去)を表す。 4) 完了動名詞 having won は述語動詞(was)よりも前の時を表すので過去完了にする。 5) broke は述語動詞(are)よりも前の時を表すので、完了動名詞にする。

訳 1) ケンタは自分が試験に合格すると確信している。 2) あなたを信じなかったことを申し訳なく思う。 3) 私は答えがわからなくて恥ずかしかった。 4) ボブは試合に勝ったことを誇りに思っていた。 5) あなたは規則を破ったことに気づいているのですか。

手であることを誇りに思っている。 5 メグは若いころ看護師であったことを誇りに思っている。

1. 1) Learning about other countries is important (.)
- 2) My dream is living in (a foreign country.)
- 3) I enjoyed talking with you (.)
- 4) (I) am good at reading maps (.)
- 5) (Haruto) is interested in playing soccer (in Europe.)

解説 3) enjoy は目的語に動名詞をとる。 4)・5) 前置詞に続く動詞は動名詞になる。 5) be interested in *doing* 「～することに興味がある」

2. 1) riding 2) his [him] playing
- 3) being 4) mind my [me] joining
- 5) Tom's [Tom] looking
- 6) her not remembering

解説 2) 動名詞の意味上の主語「彼」を所有格または目的格にして動名詞の前に置いて表す。 3) 前置

4. 1) ウ/彼[彼女]らとトランプをするのはとても楽しかった。
- 2) エ/私は1杯のコーヒーを飲むことで朝を始める。
- 3) ウ/ビルは彼女がプロポーズを受け入れると確信している。
- 4) イ/私はケンにメールを返さなかったことを謝った。
- 5) ウ/コンピュータは使った後に電源を切ってください。

解説 1) Playing cards with them が主語。 2) by は手段を表す前置詞。 by *doing* で「～することによって」の意味を表す。 3) her は動名詞 accepting の意味上の主語。 4) not を動名詞の直前に置いて否定形の動名詞にする。 5) 前置詞 after に続く動詞は動名詞。

5. 1) their [them] coming back
- 2) taking a photo [picture]
- 3) wash your hands before eating
- 4) his [him] driving too fast
- 5) their parents' [parents] reading
- 6) without knocking

解説 1) 動名詞の意味上の主語「彼ら」を所有格または目的格で示す。 2) Would you mind *doing*? 「～することはいいですか」→「～していただけますか」はていねいな依頼を表す文。 3) 前置詞 before に続く動詞を動名詞にする。 4) 動名詞の意味上の主語「彼」を所有格または目的格で示す。 5) 動名詞の意味上の主語「(彼らの)親」を動名詞の前に置く。所有格は their parents' となる。 6) 「～せずに」は without *doing*。

Let's try!

- 1 scolded 2 returning
3 to return

解説 1 動名詞の受動態は〈being+過去分詞〉で表す。 2 remember *doing* 「～したことを覚えている」 3 remember to *do* 「忘れずに～する、これから～することを覚えておく」

- 訳** 1 だれでも人に叱られるのは嫌いです。
2 私はその本を図書館に返却したのを覚えています。
3 その本を忘れずに図書館に返却してください。

1. 1) being washed 2) being compared

解説 動名詞の受動態は〈being+過去分詞〉で表す。

2. 1) smoking 2) to see 3) catching
4) singing 5) to study / studying
6) raining 7) to do 8) to cry / crying

解説 1) give up は動名詞を目的語にとる。
2) hope は不定詞を目的語にとる。 3) miss 「～しそこなう」は動名詞を目的語にとる。 4) practice 「(～すること)を練習する」は動名詞を目的語にとる。
5) continue は不定詞・動名詞の両方を目的語にとる

解答編 21

ことができ、意味はほぼ同じである。 6) stop は動名詞を目的語にとる。 7) plan は不定詞を目的語にとる。 8) begin は不定詞・動名詞の両方を目的語にとることができ、意味はほぼ同じである。

- 訳** 1) おじはタバコを吸うのをやめるべきだ。
2) 私たちはパーティーであなたに会えればと思います。 3) 私はボールを受けそこねた。 4) あなたは毎日歌う練習をするべきです。 5) 私は大学で英語を勉強し続けた。 6) 1時間前に雨がやんだ。
7) あなたは今年の夏に何をする計画ですか。
8) 突然、彼女は泣き始めた。

3. 1) visiting China / to bring
2) to climb / using
3) to say / buying

解説 1) forget *doing* は「(過去に)～したことを忘れる」、forget to *do* は「(これから)～することを忘れる」の意味。 2) try to *do* は「～しようと(努力)する」、try *doing* は「ためしに～してみる」の意味。 3) regret to *do* は「残念ながら～する」、regret *doing* は「～したことを後悔する」の意味。